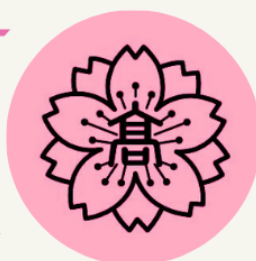


2025



探究活動

CORE・VALUE

KITANO HIGH SCHOOL

錦城高校は『勉強』のイメージが強いと思っている人へ

その『勉強』は悪いイメージですか？

それとも良いイメージですか？

大学受験の為だけに勉強するのではない！

学ぶことに楽しさを感じられる生徒であってほしい！

そんな思いを込めてこの冊子を作ったので

是非読んでください。

錦城高校・の〇回生 小倉 空桜

在校生の錦城のイメージ TOP 3

勉強

 No.1

真面目

 No.2



忙しい

 No.3



INTRODUCTION

探究活動とは、実社会や実生活の中から見出した問いに対して課題を立て、解決に向け分析したものをまとめて発表することであり、「総合的な探究の時間」という教科名で文科省が定めた学習活動です。文科省が定めたとは言っても、錦城では内申点がつかない為、テストは行われません。“探究”には明確な答えがなく、評価する側の主観によって左右されやすいからです。このことから、“探究”には縛りがなく、自由でゆとりのある勉強であると言えます。

錦城は、大学受験の合格を目標に勉強している生徒が多い学校だというイメージが持たれているかもしれませんが、成績に関わるから、受験に使う科目だから、良い大学に行きたいから頑張るといった理由で、勉強を《Have to》と捉えてしまっているからではないでしょうか。『勉強は《Have to》である』という考え方は、一種勉強に対して悪いイメージを抱かせがちです。そこで探究活動を通じて《Want to》でできる勉強を皆さんに知ってもらうことで勉強のイメージを良くすることができるのではないかと考えました。

錦城高校は勉強のイメージが強いですが、《Have to》だけでなく《Want to》でも学べる学校であるとの冊子を通じて皆さんに知っていただければ幸いです。

KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO
KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO



三兎を追うめがね

ー探究リーグに参加していた61回生にインタビューさせていただきましたー

Q.探究リーグを通じて学んだことは？

A.物事の見方や考え方の視野が広がり、6分間の動画に探究内容をまとめる論理力や構成力も身につきました。チームでの探究だったので、様々な視点で意見を交換し合える良いチームワークも築けます。

Q.答えが出ないことに不安は感じましたか？

A.探究は答えを出さなくても良いとされますが、僕は答えは存在するがその答えは1つではない。正解はなく、深掘りすればさらに良い答えが出る可能性があるという意味だと思っています。そのため不安はありません。

Q.授業との両立は大変だったか？

A.授業との両立は意外と簡単にこなせます。成績も下がることはありませんでした。しかし、提出期限が決められているため、学校行事や部活の大会・発表会と重なった時期は大変でした。

Q.読者に向けて

A.探究に対する意欲が少しでもあるならやってみるべき！有志探究は真剣に取り組む人が集まるから是非参加してみたいです。みんなで意見を交換しながら取り組めば自分にとって糧となる探究に繋がると思います。

課題①

世阿弥の風姿花伝から
現代に通ずる何かを探す

- ・チームと課題について話し合い
- ・課題についての結論
- ・スライド作り
- ・発表動画撮影
- ・提出

課題②

貧困家庭に支援している人の話から
世界課題に立ち向かう心構え

- ・チームと課題について話し合い
- ・課題についての結論
- ・スライド作り
- ・発表動画撮影
- ・提出

課題③

心構えに沿って将来役立つ
企業課題

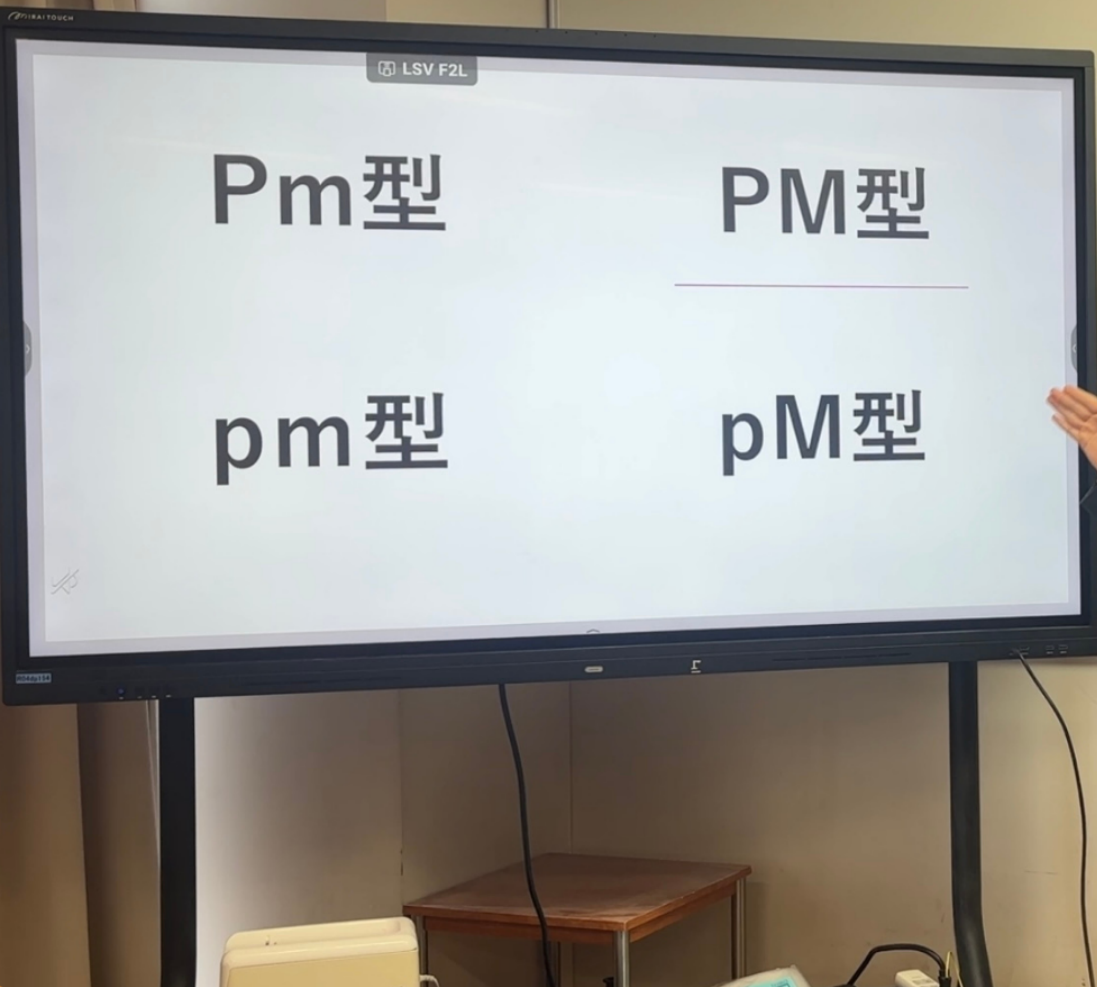
- ・チームと課題について話し合い
- ・課題についての結論
- ・スライド作り
- ・発表動画撮影
- ・提出

探究リーグとは、9月から2月までの約半年間開催された大会で、開催期間中に発表された3つの課題を6分間の動画にまとめて提出期限までにそれぞれ提出しました。全てオンライン開催で、TWICE PLANと三菱みらい育成財団、大会の参加者で採点が行われました

活動記録

KITNOQ

KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO
KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO



62回生探究ゼミ

—探究ゼミに参加していた1人にインタビューさせていただきました—

Q.何について探究したのか?

A.「錦城高校の理想なリーダー像」について、文献調査やアンケート・インタビュー調査を行って約半年間かけて探究しました。

Q.探究ゼミを通じて学んだことは?

A.テーマについての知識が増えることはもちろん、基本的な論文の書き方やインタビューでのコミュニケーションなどのスキルだけでなく、自分と向き合うきっかけをいただき、自信に繋がりました。将来に対する視野も広がる場所が探究の良いところです。

Q.授業との両立は大変だったか?

A.長期間ひとつのテーマについてじっくり探究する活動であったため、探究ゼミの負担は小さかったです。テスト期間中はゼミも休みであったため、授業との両立は苦ではありませんでした。

Q.読者に向けて

A.勉強との両立は意外とできるから迷ったらやってみるべき! 受験勉強は自分の本質には触れられないけれど、探究活動は自分のことを知るきっかけを与えてくれます。

虐待を減らすには

宇宙の終わり
について

錦城高校の理想の
リーダー像とは

生徒に対する習い事
及び趣味の作用

他者への依存
/他者からの信頼

「おずらむ」の
成立について

他の存在が個の
パフォーマンス
に及ぼす
影響について

中学受験の危険性

人類による宇宙開発
と宇宙移住

安楽死は日本で
認められるべきか

遺伝の可能性と限界

62回生探究ゼミは、62回生内で有志で参加者を募り約半年間活動しました。授業ではないため、放課後や昼休みの時間を用いて活動していました。個人探究でテーマは自由。先生や他の参加者にアドバイスをいただきながら論文を書いていたそうです。最後は授業内で同級生に約半年間かけた探究の成果を発表しました。

探究テーマ一覧

KING20

KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO KINJO



び～ず

ー60回生が立ち上げた「び～ず」。それを引き継いだ61回生にインタビューさせていただきましたー

Q.び～ずの活動に参加した理由は？

A.60回生の全校発表を聞いて楽しそうだったからです。探究活動自体にも興味があり、無料で販売の経験ができる活動は素晴らしいと思いました。

Q.び～ずの活動を通じて学んだことは？

A.小平市の魅力を知ることはもちろん、目上の方やクライアントへの話し方や電話のスキル、短い期間で互いの都合が合うように予定を調整する臨機応変さなど社会に出る上で必要なスキルも学びました。

Q.授業との両立は大変だったか？

A.私たちの活動期間は6月から夏休みを挟んだ文化祭までの約3ヶ月間でした。テスト期間中の活動はなく、夏休みを中心とした活動なので両立は容易かったです。しかし、夏休みに大会がある部活や文化祭で出し物が他にある人だと大変だったかもしれません。

Q.読者に向けて

A.授業や部活ではできない経験ができます！社会と関わる経験ができるのは錦城ならではの経験ができるのが探究の良いところだから興味があるならやってみて欲しい！

6月

60回生からび～ずの
全校発表&募集

茶畑を営む
卒業生から
び～ずに連絡

お茶班結成！
61回生5名参加

※詳しくは次のページへ

野菜班結成！

61回生7名
62回生2名参加

9月

文化祭で販売！

8月

農家さんに
電話で交渉
15件以上電話！

7月

小平市の
野菜やお菓子
について学ぶ

活動記録

KITANO

び～ずは60回生の探究活動により生まれた有志団体です。小平市を活性化することを目的として活動し、小平市の農家やJAと協力し文化祭での野菜販売を行っていました。61回生の代では、野菜販売に加え、卒業生が営む茶畑で採れた茶葉を使い錦城オリジナルのブレンド茶「錦茶」を販売しました。お茶販売で生まれた利益は小平市へ全額寄付しています。

「錦茶」ができるまで

こんにちは！私たちはび〜ず「お茶班」です。

卒業生である池乃屋園の池谷さんと共にブランド茶「錦茶」を共同開発しました。

今回は「錦茶」ができるまでの過程を紹介します。

6月

お茶班が結成されました。

初めにお茶畑の視察として池乃屋園さんに向かい、実際に作っている現場を見学しました。



7月

池谷さんに錦城にお越しいたいただき、和室でお茶の飲み比べや勉強会を行いました。錦茶のコンセプトも考え始めました。

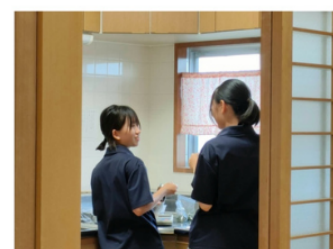
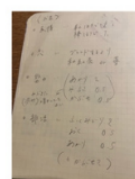


8月

話し合っ、コンセプトを「錦城の味」に決定しました。送ってもらった茶葉を使って各自ブレンドをし、飲み比べることを繰り返しました。

また、ロゴやパッケージも同時に考え始めました。

お茶のブレンド作成、お茶のロゴ作成ともに作っては直し、作っては直しを繰り返すことでようやく形にすることができました。



9月

最終チェックとして池谷さんに錦城にお越しいたいただきみんなで飲み比べました。

また、パッケージデザインも修正を加えていただきました。そして、ついに錦茶が完成しました！



このように「錦茶」は池谷さんの多大なるご協力のもと、お茶班が全力を尽くしてつくりあげた商品です。ゆっくりとお楽しみください！



お茶班メンバー

高瀬、井戸川、鈴木、米田、小尾

HAKUHODO



BRIDGESTONE



ODAWARA



KINGO

錦城から社会へ!

錦城高校の探究活動の中には探究活動部の教員が発信している探究活動もあります。過去の活動には、博報堂の社員さんへのインタビュー、ブリジストンの見学、卒業生訪問、起業家講演会など、錦城高校の枠組みを越えた社会の中での探究を行っています。これらの探究活動は単発で完結するものが多く、忙しい人でも手が出しやすいところが魅力のひとつです。ジャンルの異なる探究活動を数多く発信しているため、参加する程、幅広い知識と視野を身につけることができます。自分が興味ある探究があれば参加してみてもいいのではないでしょうか。

わたしの探究に込める思い

私は元々学ぶことが好きで、勉強することに対して抵抗はなく、むしろ楽しいと思って中学までは過ごしていました。錦城高校は勉強が厳しいことで有名でしたが、勉強が好きだったため個人的には問題ないと判断して入学しました。しかし、いざ入学してみると毎日のように小テストがあり、点数が悪いと成績に影響し進級できなくなるという圧により、勉強をしたいからするのではなく、したくなくても勉強せざるを得ない日常に変わっていききました。今の私は勉強することに対し抵抗感を持っています。錦城生が勉強に対して悪いイメージを持つ理由も、私と同じなのではないかと考えました。

錦城の探究活動の授業を3年間受けてきましたが、内申点に関係のない授業であれば、私はテスト勉強を優先したいと思い、真面目に取り組んでできませんでした。おそらく、多くの生徒が私と同じような考え方を持っているのだと思います。しかし中には、探究活動に真面目に取り組み、自分たちが提案したものを実現している生徒もこの目で見えてきました。彼らの発表や取り組みを見て私は、「大学進学を目指すことを目的とするコミュニティとは別の目的を持ったコミュニティで受験とは別の『総合的な探究の時間』で成功体験をしている。だからこそ彼ら自身が実感できる程の成長を感じているのだろう」と感じました。

皆さんの中には、上記のような経験ができる環境を、学校以外で持っている人もいれば、持っていない人もいるかもしれません。しかし、錦城生であれば探究活動における成功体験のチャンスを平等に得ることができます。

実は私もこの冊子を通じて成長を感じることができました。将来の進路は人によって異なるため、錦城生全員にとって良いものになると一概には言えませんが、将来についてしっかり考えている人が多い学校だからこそ取り組む価値はあるのではないかと思います。

目の前に控える大学受験に向けての勉強の方が大事であるという考えも分かりますし、私も受験の方が大事だと思います。しかし、ずっと受験・テスト・課題の勉強をしているわけではないはずです。息抜きにゲームしたり、テレビ見たり、買い物したり、部活したり、人と話したり、推し活したり、、、

探究活動は、推しに認知されるための方法やゲームの攻略法を考えることも探究（勉強）といえてしまうのが魅力の一つです。

つまり、私が言いたいことは受験だけが勉強ではないということです。日常をより充実したものにするために、少し考えて行動することも勉強の一部だということを知ってほしいのです。最初は些細な問いであっても、探究活動を通じて問いを深めていく中で課題解決の対象が身の回りから社会へ広がっていく可能性があるのが錦城で取り組む探究活動だと思います。私たちの考えを先生たちがしっかり受け止めて全力で実現に協力してくれる高校というのはそう多くはないと思います。こんな貴重な勉強ができるのは錦城の一つの価値であると私は思います。

“錦城＝勉強→悪いイメージ”と思っていた人が少しでも私たちの探究活動を通じて“錦城＝勉強→良いイメージ”になってくれたら嬉しいです。

この冊子誕生の探究発表スライド（一部）

中3に併願だから、ではない 錦城の魅力を伝えよう

チーム：ころすけ
小倉 加納 田口 永田 淵 大久保 福田

ペルソナ&インサイト（ターゲット）

- 15歳 中3 毎日塾に通う
- 都立西落ち 国立市
- 母、父、姉(都立西→一橋大学)
- 性格：プライドが高い 承認欲求
- 都立に受かるから、どうせ行かないし、、説明会にも行かず適当に錦城を併願校に

みんな併願にしてるし…



アンケート結果を経て…

「錦城＝勉強」のイメージが強い
⇒この“勉強”は悪いイメージ（テストが多い、大変、自称進…）
∴錦城＝勉強＝悪いイメージになっている

↓
錦城＝勉強＝良いイメージにするには
錦城での学習の魅力を伝える！
⇒探究活動（コア・バリュー）



探究活動ブランディングの メリットとデメリット

- メリット
 - ・大学受験に囚われない学び⇒**勉強のイメージの改善**
 - ・生徒の主体性UP ・新たな価値が生まれる ・外部からの印象UP
- デメリット
 - ・役に立たない、時間の無駄と思われる可能性がある
 - ・力を入れすぎると、成績や受験に影響してくる
 - ⇒学力低下で学習面での学校の信頼が悪くなる可能性がある

先生方の探究に込める思い①

高1～3で行われる「総合的な探究の時間」では、自分がどうしても気になることを問いにして、自分なりの答えを探ることができます。

この冊子を作った生徒も、自分にとっても切実な問いである「勉強とは何か」という問いと出会い、やがて自分なりの答えを見つけたことが「あとがき」から分かります。

あなたも、自分の興味をゆっくり探ってみてください。必ずしも、新しいことや特別なことを始めなくても大丈夫です。心から楽しめることなら、すでにやっていることや平凡なことのほうが、むしろ望ましいくらいです。

「総合的な探究の時間」は、他人に自分をよく見せるためではなく、「自分はどんなことを楽しめるのか、それはなぜか」をよく知るためにあるのですから。

先生方の探究に込める思い②

「答えのない問い、答えの見つかっていない問い、答えが複数ある問い」を考える、その時間を授業として確保してあげることだと思っています。

その活動を通して、以下の事ができるようになるといいなと考えています。

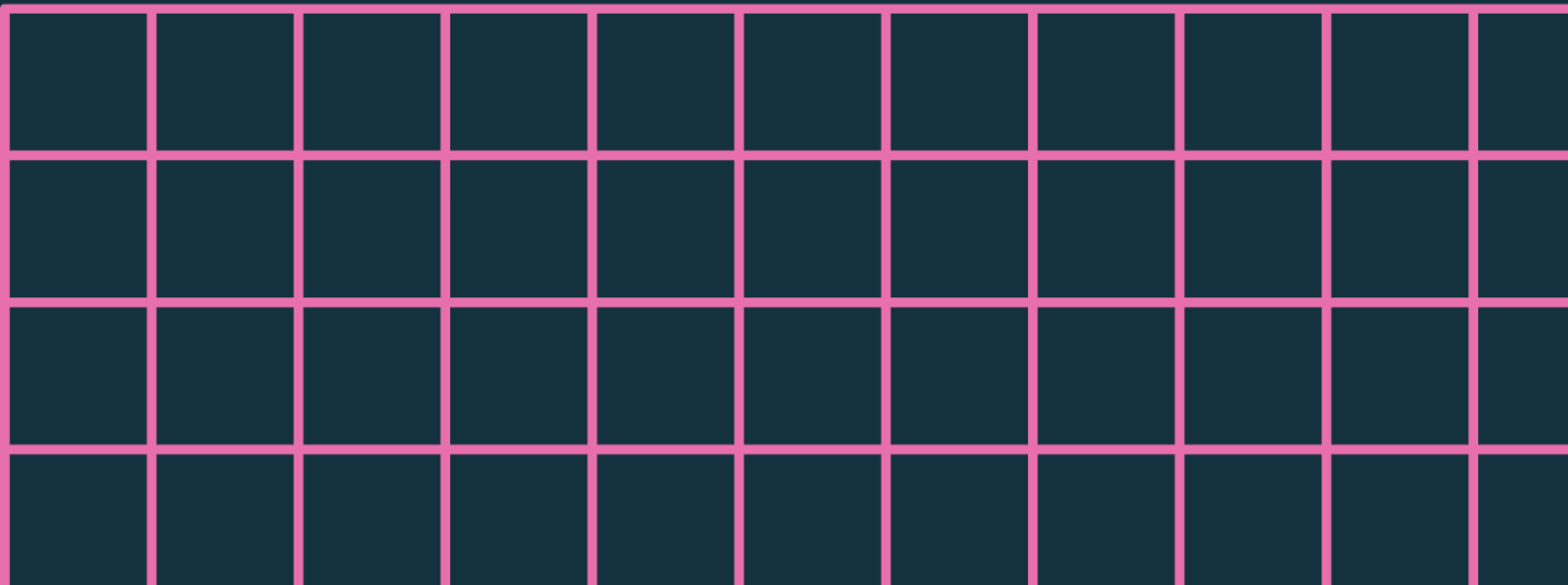
- ① 「考えを成果物としてまとめる」ことから、自分を表現できるようになる。
- ② 「発表、質疑応答」を通して、他人の考えや価値観を受け入れられるようになる。
- ③ 自分を取り巻く環境、社会、世界に目を向ける力、自分ごととして考える力、行動する力を育てる。

高校生にとって「自分とは何か」を考えることは、一番難しい課題なのではないかと思います。また、自分と周囲の人は違うものだの実感し、上手にコミュニケーションを取ることができるようになると良いなと思っています。さらに、自分は社会の一員であり、世界に目を向ければ、今この時間にも戦争、災害、環境汚染などが起きていることに気づいてほしいのです。これらは、自分が暇な時だけ考えれば良いわけではないものです。どんなことでも、自分ごととして考えられるような大人になってほしいなと思い、活動をバックアップしています。答えは見つからないかもしれませんが、考えたことがある人となない人では今後差が生まれるのかな、とも思っています。

私自身、上記のことが出来ているわけではありません。生徒の活動を見守りつつも、自分自身も探究活動を行っている気がします。探究することは大人になっても必要なんですよね。

まとまりのない文章でもうしわけありません。私自身が探究活動を勉強中ですが、またお話しさせて頂けたら幸いです。

後藤 知子





探究活動



THANK *You*

60回生 小倉 空桜

60回生 加納 奈央

び〜ず

三兎を追うめがね

62回生 駒形 桜子

探究活動部

